

## 2009 年度 小委員会活動成果報告

(2010 年 2 月 15 日作成)

小委員会名	海洋構造小委員会		主 査 名：濱本卓司 就任年月：2007 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	海洋建築委員会		委員長名：横内憲久 主 査 名：
設 置 期 間	2007 年 4 月 ～ 2010 年 4 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	構造工学の観点から、これまでに建設された国内外の海洋建築物を調査し、構造に関するデータベースを構築することを目的とする。 ・2007 年度から開始した日本国内における海洋建築物の構造に関するデータベースを作成する。 ・海洋ミニシンポジウムを海洋建設工法小委員会と共同開催する。		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無		
	濱本卓司 (東京都市大学), 遠藤龍司 (職業能力開発総合大学校) 大塚清敏 (大林組), 加村久哉 (JFE 技研), 川上善嗣 (職業能力開発総合大学校), 近藤一夫 (広島大学), 新宮清志 (日本大学), 関洋之 (梓設計), 高橋利恵 (前橋工科大学), 中西三和 (日本大学), 福住忠裕 (神戸大学), 藤田謙一 (千代田アドバンス・ソリューションズ), 矢代晴実 (東京海上日動リスクコンサルティング)		
設置 WG (WG 名：目的)	なし		
2009 年度予算	200,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： <a href="http://news-sv.ajj.or.jp/kaiyo/s0/">http://news-sv.ajj.or.jp/kaiyo/s0/</a>	

項 目	自己評価
委員会開催数	回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1. (名称) 海洋建築ミニシンポジウム 「海洋建築物の利用と構造設計・施工技術」 参加者数 34 名 (資料名) 同上
大会研究集会	1. (名称) 都市再生を促す海の活用術 ～海に浮かぶ施設～ 参加者数 43 名 (資料名) 同上
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	特になし
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 日本国内の 12 例の海洋建築物の構造データベースを作成した。 2. 海洋建設工法小委員会と合同で、海洋建築ミニシンポジウム「海洋建築物の構造設計と施工技術」を 11 月 19 日 (木) に開催した。
委員会活動の問題点 ・課題	特になし

\*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。